


番号	3	対象地名	妙善寺
所在地	富士市原田 1344		
種別	寺社		
湧水分類	永明寺湧水群		
水質			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妙善寺は、本堂の裏（東側）に湧水源が1箇所あり少量ながら湧いている。 ・ まちの駅に認定されている。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象地の周辺は、概ね低層住宅地が広がり、北に滝川山神社、南西にかがみ石公園、南東に竹採公園がある。また近隣に、北東に静岡県立吉原工業高校、南東に吉原第三中学校がある。 ・ 妙善寺の南の住宅地は水路が巡り、水の勢いの流れる音が聞こえる。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1250年頃から観音堂があり、安置されている十一面千手観音坐像（市指定文化財）は、「滝川のお観音さん」と呼ばれ親しまれてきた。 ・ 古くから湧水と関わりが深い地域であり、昔から人の集まる要所であった。豊富な湧水量のため、昔は水車小屋が何棟もあり、水車の粉引きをしに多くの人が集まった。 ・ 大正から昭和37年まで、本堂の裏で農耕馬による草競馬が行われており、現在も敷地の周りに走行路の跡がみられる。 ・ 臨済宗中興の祖といわれる白隠<small>はくいん</small>禅師は、妙善寺の和尚と親交があり、妙善寺に滞在したことがあった。殊に妙善寺の風呂がお気に入りでわざわざ他の宿所から入浴のために通われたともいわれている。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【逸話】</p> <p>【祭り・イベント】</p> <p>戦乱のさなか、関東公方の足利持氏と戦った小栗判官<small>おぐりはんがん</small>満重は、戦に利あらず居城の常陸国小栗場をすてて、兄のいる三河国へ向けて逃亡の旅を続けていた。その途中、相模国で満重の殺害を計画して、一行に毒酒をすすめた。それに気づいた大膳の養女照手姫がひそかに満重にこれを告げた。彼は急いで馬（鬼鹿毛）に飛び乗って西をさして走り、この地の原田の妙善寺に至ったところで落馬、命も危なかったところを大空禅師に救われたという。大空禅師は彼を紀州の温泉に湯治に送り出した。しかし、そのような事情も知らない鬼鹿毛は主人の後を慕って探し回ったあげく、お堂を三回巡った後、三度悲しげないなきを残し息絶えた。これを哀れんだ大空禅師は、鬼鹿毛を観音堂下に手厚く葬り、供養したといわれる。</p> <p>■祭り・イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妙善寺：ご開帳（旧暦1月17日、旧暦7月9日） ・ お観音さんのお祭り：ご開帳にあわせ、かつての草競馬でにぎわった祭りをしのんで、 		

乗車体験ができるイベントが行われている。(2月下旬)

- ・夜観音祭「竹かぐやの夕べ」：ご開帳にあわせ、2000基の竹灯籠「竹かぐや」に火をともし、光供養を行っている。(9月上旬)



妙善寺 (湧水源)



妙善寺北側にある水神



草競馬 走行路跡



妙善寺境内